※令和３年度以前入学生用

学校番号	1004

令和５年度　美術

教科	美術	科目	クラフトデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・紙工芸、籐工芸、ガラス工芸、金属工芸、染色、皮工芸、陶芸などの基礎技術を学びながら造形活動を行い、生活の中で活かせるものを制作します。
・制作を通して計画性やデザイン力を養います。

２　学習の到達目標

クラフトデザインに関する学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）美的な造形性や機能性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に着けるようにする。
（２）表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
（３）クラフトデザインの可能性を追求する態度を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	様々な工芸作品やその技術、制作に興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。	作品制作に関する基礎的な技術や知識を、自身の計画した造形活動に応用したり、創意工夫したりすることができる。	制作に関する基礎的な技能を身に着け、各工程で求められる工程を自身で進めることができる。	様々な工芸の特性等を理解することができる。 工芸作品などの表現の工夫や文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	ワークシート 授業態度 制作の様子	アイデアスケッチ ワークシート 制作の様子	制作の様子 （道具の扱い方） 制作途中の作品	発表態度 鑑賞態度 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	紙工芸	「葉書制作」 ・紙漉きの基本技術の練習 ・制作 ・発表、鑑賞	 ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:紙漉き技法に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:紙漉き関する基礎的な技術を、自身の計画する造形活動に応用したり、創意工夫したりすることができる。 c: 紙漉きに関する基礎的な技能を身に着け、各工程で求められる工程を自身で進めることができる。 d: 紙漉きの特性等を理解することができる。 使用する道具や材料に関する知識を理解し、適切に扱うことができる。	授業態度 アイデアスケッチ 制作の様子 製作途中の作品 発表態度 鑑賞態度
	籐工芸	「籐籠制作」 ・基本的な編み方の練習 ・デザイン、計画 ・制作 ・発表、鑑賞	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	a:籐工芸に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:籐工芸関する基礎的な技術を、自身の計画する造形活動に応用したり、創意工夫したりすることができる。 c: 籐工芸に関する基礎的な技能を身に着け、各工程で求められる工程を自身で進めることができる。 d: 籐の特性等を理解することができる。 使用する道具や材料に関する知識を理解し、適切に扱うことができる。	授業態度 アイデアスケッチ 制作の様子 製作途中の作品 発表態度 鑑賞態度

※令和３年度以前入学生用

	ガラス工芸	「はんだ付けによるステンドグラス制作」 ・基本的な技術の練習 ・デザイン、計画 ・制作 ・発表、鑑賞	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:ガラス工芸に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:ガラス工芸に関する基礎的な技術を、自身の計画する造形活動に応用したり、創意工夫したりすることができる。 c: ガラス工芸に関する基礎的な技能を身に着け、各工程で求められる工程を自身で進めることができる。 d: ガラス工芸の特性等を理解することができる。 使用する道具や材料に関する知識を理解し、適切に扱うことができる。	授業態度 アイデアスケッチ 制作の様子 製作途中の作品 発表態度 鑑賞態度
	金属工芸	「彫金によるシルバーリング制作」 ・基本的な技術の練習 ・デザインと計画 ・制作 ・発表、鑑賞	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:彫金技法に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:彫金関する基礎的な技術を、自身の計画する造形活動に応用したり、創意工夫することができる。 c: 彫金に関する基礎的な技能を身に着け、各工程で求められる工程を自身で進めることができる。 d: 彫金の特性等を理解することができる。 使用する道具や材料に関する知識を理解し、適切に扱うことができる。	授業態度 アイデアスケッチ 制作の様子 製作途中の作品 発表態度 鑑賞態度

※令和３年度以前入学生用

	陶芸	「お皿制作」 ・たたらづくりの練習 ・制作 ・発表、鑑賞 「湯のみづくり」 ・ひもづくりの練習 ・制作 ・発表、鑑賞	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	a:陶芸に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 b:陶芸に関する基礎的な技術を、自身の計画する造形活動に応用したり、創意工夫することができる。 c: 陶芸に関する基礎的な技能を身に着け、各工程で求められる工程を自身で進めることができる。 d: 陶芸の特性等を理解することができる。 使用する道具や材料に関する知識を理解し、適切に扱うことができる。	授業態度 アイデアスケッチ 制作の様子 製作途中の作品 発表態度 鑑賞態度

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。